

ECHONET Lite 海外認証ラボの拡充整備

仕 様 書

平成26年8月

一般財団法人エネルギー総合工学研究所

1. 件 名

ECHONET Lite 海外認証ラボの拡充整備

2. 目 的

1997年に制定されたECHONET(Energy Conservation and Homecare Network)は次世代ホームネットワークシステムの発達に向けた基本技術を提供した。通信標準の目的は、新築、既築問わず、異なったメーカーが製造した家電が繋がり、容易に導入可能な通信メディアを用いて様々なサービスを提供することにある。

2011年には、ECHONET規格を改定し、伝送媒体の選択の柔軟性を高めるとともに、創エネ、蓄エネ、省エネを実現するHEMS向けに制御対象機器を拡大したECHONET Lite規格が開発され、一層の普及促進が図られようとしている。2012年2月に公表された「スマートハウス標準化検討会中間とりまとめ」において、ECHONET Lite規格は日本のHEMSにおける公知な標準インターフェイスとして推奨された。これにより、日本国内でのECHONET Lite規格を用いたHEMSの普及とともに海外市場への展開が期待されている。日本国内でのHEMS普及に向けて、ECHONET Liteの相互接続認証支援および開発支援を行うためのHEMS認証支援センターが2012年11月より運用が開始されている。

本事業では、昨年度、海外でのHEMSとECHONET Liteの普及に向けて、相互接続認証支援および開発支援を行うECHONET Liteの認証支援センターをマレーシアに設置し、運用を開始した。この施設は、初の日本国外の認証支援センターであり、エコーネットコンソーシアム、国内のHEMS認証センター、および、この分野の日本の専門家たちによって監督されている。今年度は、このセンターの機能等の拡充整備を行う。

3. 実施内容

昨年度マレーシアに設置した認証支援センターの拡充整備として、接続試験用機器の増設と動作環境の整備を行う。拡充整備の目標は、IPネットワーク環境において独自アプリケーションによるECHONET Lite家電機器（エアコンディショナー、照明等）の制御のデモンストレーションを行うショウケースを構築すること、とする。

受注者は、本年度の改善案を提案の上、エネルギー総合工学研究所の承認を得た後に、実施すること。

4. ミーティング

エネルギー総合工学研究所はこの事業の報告に関してミーティングを開催する場合がある。受注者はこのミーティングに研究者を派遣し、ミーティングに必要な情報を報告する必要がある。ミーティングは東京で開催予定であり、そのための費用はプロジェクト費用見積に算入するものとする。

5. 契約期間

(自) 契約日

(至) 平成27年2月27日(金)

6. 仕様書の解釈、定めのない事項の取扱

この仕様書に定めのない事項については、エネルギー総合工学研究所プロジェクト試験研究部と協議のうえその指示に従うものとする。

7. 成果物の提出

(1)中間報告

- ・提出方法：Eメール
- ・提出期限：プロジェクト進捗により決定する

(2)最終報告

- ・提出物 成果報告書 2部
 成果報告書電子ファイル 1部
- ・提出期限 平成27年2月27日(金)

- (3)提出先 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所
 プロジェクト試験研究部

8. 検収方法

- ・完了届の受領および納入品目の内容確認をもって検収とする。

以 上